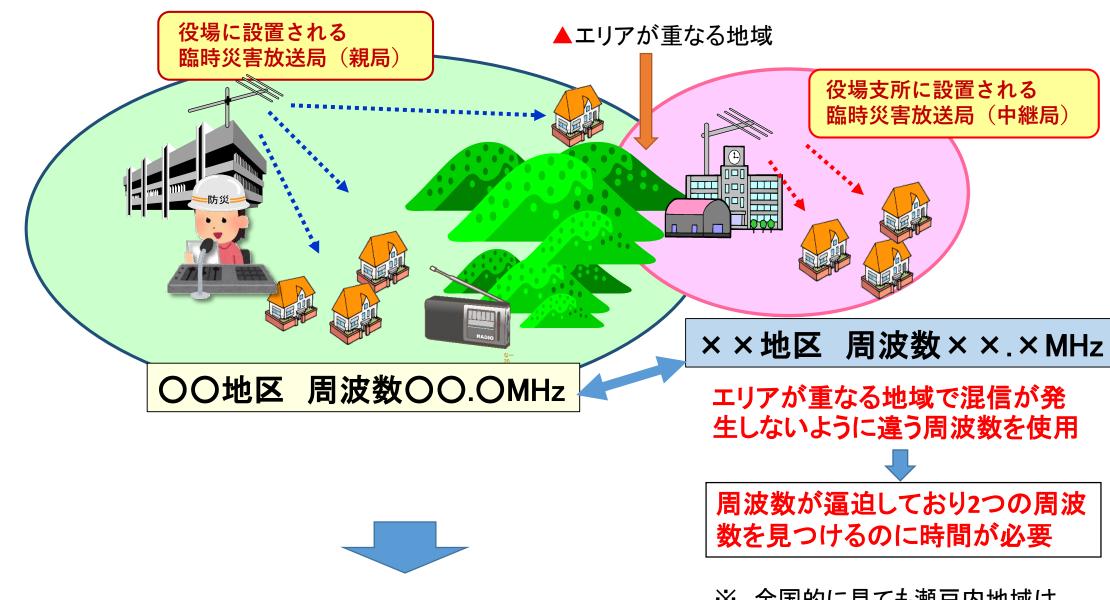
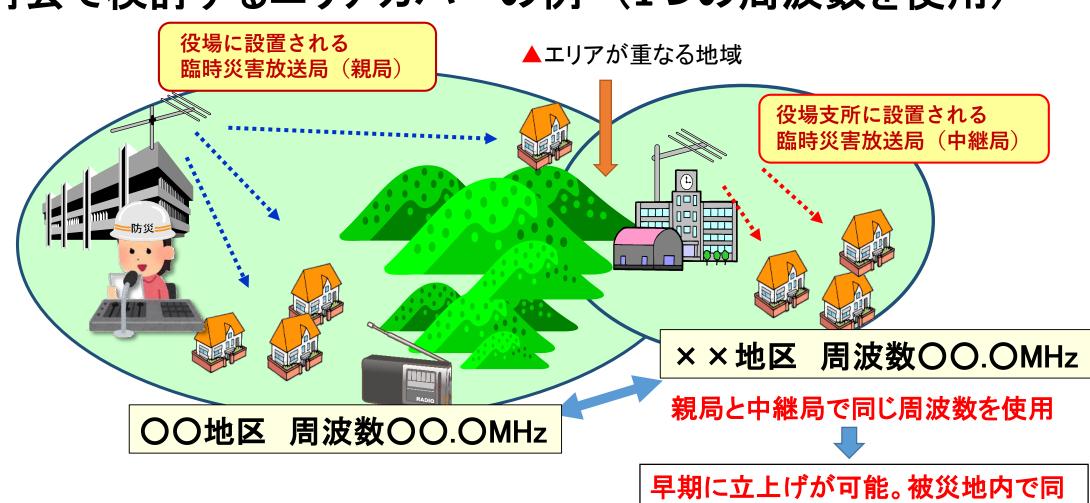
臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討の概要

現在の一般的なエリアカバーの例 (2つの周波数を使用)



※ 全国的に見ても瀬戸内地域は 周波数の逼迫度が高い。

本検討会で検討するエリアカバーの例 (1つの周波数を使用)



早期に立上げが可能。被災地内で同じ周波数で受信が可能(周波数の周知の観点からもメリットあり。)。

※ 本調査検討会では、親局と中継局で同じ周波数を使用する技術的条件 の検討を行います。

▲ エリアが重なる地域でも良好に受信できるよう送信のタイミング調整等が必要。